

山行NO NO. 1742
日時 2017.06.17(土) 晴
山域 御坂・節刀ヶ岳(1736m)北尾根～鬼ヶ岳(1738m)北尾根
コース 芦川・入沢大橋7:30-1546m峰9:25-節刀ヶ岳10:06-20-金山-鬼ヶ岳10:58-鬼ヶ岳北尾根入り口11:10-水ノ沢山12:13-25-林道下13:12-入沢大橋14:00
標高差 上り 入沢大橋約800m～節刀ヶ岳1736m=約936m
下り 鬼ヶ岳1738m～入沢大橋約800m=約938m
藪漕度 上り・下り=0(5段階レベル) 上り・下りとも殆どない
参加者 単独

下部は急登、上部は自然林

以前から狙っていた、御坂山塊北面を攻める。この山域は、興味深い。同行者なしで、久しぶりの単独行。R358から芦川に入る。ヘアピンの先で、芦川オートキャンプ場に向かう。程なく、小さな「入沢大橋」。ここが出発地。



出発地

車道から、モーレツな急登を進む。
ひと上りで、標高点・1084m。地図では西から点線があるが、道は無かった。
途中、白樺が何本かあった。自然のものだろうか。
更に厳しい上りが、標高点・1546mまで続く。
直下に西から杉道が伸びていた。ただ、出発地が何処なのか不明。分かればこの道は使える。
1546mまで、今日の上りで一番厳しかった。
1546mは、風通しが良く、明るい気持ちが良い平坦地だった。
春蝉が鳴きだした。
一定の気温になると鳴くようだ。



白樺林



1546m峰



更に快適な尾根を上る。
藪は全くない。
ある程度、上られているのか。



前方が節刀ヶ岳



ドウダンツツジ



節刀ヶ岳

前方の空に、節刀ヶ岳が見えた。

間もなく頂上着。残雪の富士山が見事。

前橋の方が食事中だった。私も空腹を覚え軽く食べて、ビア一本。旨い。



バックスキンの靴

オジサンは、素晴らしいバックスキン（裏革出し＝本来のバックスキンは、意味が違う）の靴だった。今時、この手の靴は貴重品。ひと昔前、バックスキンは流行った。大事にされていて、好天時しか履かないそうだ。オジサンは話好きだった。やおら、タバコを出した。最近は見ない「わかば」だった。緑色のパッケージが印象的。320ーと安いから吸っているという。プカプカやっていたら、後続の若い衆が「臭いからヤメロ」と苦言。二人で肩をすくめて笑ってしまった。その間、外人さん、年配者が到着。



オジサンと分かれ、再び一人旅。
明るいイイ感じの稜線を進む。陽光・新緑・青空・風・春蝉・草花・・・。
どれも躍動感に満ちていた。素晴らしい日本の山々。幸せだ。
鬼ヶ岳着。誰も居ない。
少し下り、北尾根に入る。入り口に「通行不能」の看板。「不能」と「不可能」は違うかな。
「不可能」は、下れない可能性があるが、「不能」は、個人差がある。
なら、行きましょう。

結果は、藪はなく、問題なかった。

ただ、一箇所、尾根が曖昧になる1300m付近が難しかった。

GPSがなかったら、迷ったかも。

ま、北北東に下っても問題はないが、北尾根を末端まで歩く観点から、それは面白くない。

これは、こだわりである。

途中、ヤマツツジが見事。



ヤマツツジ



水ノ沢山

下り切れれば、水ノ沢山。立派な、山名表示板があった。明るく静かな頂。

水ノ沢山（1134m）は標高点の山。先に三角点の1167.5m峰がある。こちらも、立派なピークだが、何故、こちらが水ノ沢山ではなかったのか疑問。

小休止し、遅い昼食。もう一本、ビアをいただいた。再び下山。

モーレツな急下降。

林道が見えた。ところが、ノリ面がコンクリで下れない。お役所は登山者に配慮がない。

少し右手に回り込み、やっと林道に降りる。

再び急下降。車道が見えて帰還。ちょっと上って、入沢大橋。

ひとつ、課題は終了した。



